関西サッカー協会
公式記録

会場責任者	主審サイン
吉田和弘	小林秀之

大会名	第25回関西高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西大会	準決勝	試合番号 ⑥	平成28年11月19日 (土) １４：００ キックオフ	競技時間	７０分	記録者 稲富真菜
					観衆	150人	

会場	野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイク	天候 晴 (曇) 雨	風 強 弱 (無)	芝	状態 (良好) 不良 泥沼	審判	主審 小林秀之 氏	副審 A1 黒川健吾 氏 A2 杉田昴 氏	第4の審判員 中村静夫 氏

【チーム名】 大阪桐蔭 高等学校 (kick off)		【チーム名】 日ノ本学園 高等学校 kick off
1 先	前半	1 (先)
0	後半	1
背番号 6 9 3 10		背番号 6 7 2 12 11
○ × ○ ○ ○ ×	3 PK戦 5	○ × ○ ○ ○ ○ ○

交代時間	シュート（得点者は＊印） 延長後半	延長前半	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置		背番号	選手名	学年	シュート（得点者は＊印） 前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間
分					2	川崎 麻由	20	GK	GK	12	平能 彩佳	3					分
分					2	南里 千尋	2	DF	DF	2	金平 莉紗	2					分
分					3	田中 梨華	3	DF	DF	3	松永 未衣奈	2					分
分				1	3	森田 真弥	4	DF	DF	4	平田 ひなの	1					HT
分					1	廣崎 日向	5	DF	DF	5	牛島 理子	2					分
分					3	木成 亜紗	6	DF	MF	6	伊藤 美玖	2		1			分
分			1	1	3	大嶋 紗希	9	FW	MF	7	平塚 万貴	3	1	＊ 2			分
分					3	足立 智香	10	MF	MF	8	田中 美和	3	1	2			分
分					1	小川 真衣	16	MF	FW	10	目原 莉奈	3		1			分
67 分					1	中尾 栞々華	17	FW	MF	14	吉間 かれん	2					61 分
交代 分				＊ 2	1	樋口 佳那子	19	FW	DF	30	塚本 奈緒	2		1			分 交代
選手	交代要員																選手
番 分					3	赤木 詩歩	12	GK	GK	1	米澤 萌香	2					分 番
番 分					3	京井 杏樹	7	MF	MF	11	宮本 華乃	2					分 4 番
番 分					1	川崎 亜美	8	MF	MF	17	高橋 雛	1					分 14 番
番 分					3	山下 由依	11	MF	DF	18	櫻田 彩乃	3					分 番
17 番 分					3	湯ノ谷 綾香	14	FW	MF	21	山本 琴永	2					分 番
番 分					2	田中 未夢	18	FW	MF	22	浪田 恵莉	3					分 番
番 分					2	鈴木 佐季	21	FW	DF	23	宮崎 音々	2					分 番
			1	4	小計	5	合計	シュート数		合計	9	小計	2	7			

警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				7			3	4	G K	1	1			2		分			
	分				4			2	2	C K	0	2			2		分			
	分				6			3	3	直接 FK	1	1			2		分			
	分				9			4	5	間接 FK	0	0			0		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過
	31 分	大阪桐蔭	樋口佳那子	小川真衣	16 → 19 S
	71 分	日ノ本学園	平塚万貴	目原莉奈	30 ∩ 10 → 7 S
	分				
	分				
	分				
	分				
	分				
	分				
	分				
	分				

《略号例》 ～ :ドリブル → :ゴロのパス ∩ :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュー × :混戦 S :シュート

戦評者氏名 （ 井 尻 真 文 ） 勤務先又は所属 （ 星 翔 高 等 学 校 ）

両チーム4-4-2のシステムで試合が開始される。大阪桐蔭はFW⑨大嶋を起点にFW⑰中尾が効果的に関わりながら3人目4人目が攻撃に参加する。対する日ノ本学園はDFラインとMF⑦平塚、MF⑥伊藤で丁寧にビルドアップをしながらFW⑩目原を起点に攻撃を組み立てる。大阪桐蔭は21分に獲得したFKを皮切りに攻勢を掛け迎えた前半31分には右サイドをMF⑯小川の突破から相手GKとDFの間に上手くボールを流し込みMF⑲樋口がゴールして先制点を奪う。

後半に入り、両チーム、ストロングポイントから攻勢を掛けるが最終的に守備は崩すことが出来ず効果的なフィニッシュまで至らない。時間経過と共にリードされている日ノ本学園が攻勢に出ていく。シンプルに前線にボールを入れセカンドボールを拾いサイドへ展開する攻撃が増えてくる。大阪桐蔭も高い集中力で跳ね返すが、アディショナルタイムに左サイドのMF㉚塚本のクロスを2列目のMF⑦平塚が相手GK前で上手く合わせて同点に追いつき試合が終了する。

PK戦の末日ノ本学園が勝利したが、集中力の高い大阪桐蔭の守備が印象的であった。両チームの健闘を称えたい。